アクセス線本格着工の羽田空港に543億円 23年度予算案

#東京 #税・予算 #インバウンド

2022/12/26 19:08

インバウンドが本格化する前に空港の機能強化に取り組む

政府が閣議決定した2023年度予算案では、首都圏空港の機能強化に関する予算が目立った。羽田空港ではJR東日本の空港アクセス線が本格着工するため、22年度比62億円増の543億円を計上した。インバウンド（訪日外国人）の流入が本格化する前に、アクセスの向上や滑走路の整備による受け入れ強化に注力した。

羽田空港関連の予算では、京浜急行電鉄の空港線で、折り返し運転が可能となる引き上げ線の整備費も計上した。滑走路の耐震性を強化し、護岸も整備する。

成田空港関連では、滑走路の延伸や新設を進めるため、運営管理会社への無利子貸与金を含む156億円を計上した。

東京港、川崎港、横浜港からなる京浜港には、大型コンテナ船に対応可能なターミナルの整備や人工知能（AI）の導入による業務の効率化を盛り込んだ。関連予算は阪神港と合わせて574億円を計上した。

アクセス線本格着工の羽田空港に543億円 23年度予算案

インバウンドが本格化する前に空港の機能強化に取り組む

政府が閣議決定した2023年度予算案では、首都圏空港の機能強化に関する予算が目立った。羽田空港ではJR東日本の空港アクセス線が本格着工するため、22年度比62億円増の543億円を計上した。インバウンド（訪日外国人）の流入が本格化する前に、アクセスの向上や滑走路の整備による受け入れ強化に注力した。

羽田空港関連の予算では、京浜急行電鉄の空港線で、折り返し運転が可能となる引き上げ線の整備費も計上した。滑走路の耐震性を強化し、護岸も整備する。

成田空港関連では、滑走路の延伸や新設を進めるため、運営管理会社への無利子貸与金を含む156億円を計上した。

東京港、川崎港、横浜港からなる京浜港には、大型コンテナ船に対応可能なターミナルの整備や人工知能（AI）の導入による業務の効率化を盛り込んだ。関連予算は阪神港と合わせて574億円を計上した。